

授業科目名	介護総合演習Ⅱ		科目コード	1025	
開講クラス	介護福祉学科	コース	介護福祉士コース	学 年	1年
担当教員	松本 敏明				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) 実務経験内容 看護師として病院勤務				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1単位	
使 用 テキスト1	書 名	最新・介護福祉士養成講座『介護総合演習・介護実習』			
	著 者	秋山 昌江 他			
	出版社	中央法規出版			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	見て覚える！ 介護福祉士国試ナビ				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 介護実習での学びをより深められるよう、介護福祉士に必要な実践的な基礎能力を養い、実習施設の役割と機能及び利用者・家族の生活ニーズに対する介護福祉士の役割と、自立支援に向けた多職種協働の意義と役割を理解する。 個別ケアの必要性や多様なサービス形態のあり方について理解できる。 介護実習Ⅱを振り返り、自己を客観的に評価し、次段階に向けた課題を明確に説明できる。 					
<p><授業の概要・授業方針></p> <ul style="list-style-type: none"> 実習前後の学びを統合化し、グループワークなどによる相互学習力により自己の学習課題を確認し、実践的な自己課題を明確化していく。 					
<p><成績基準・評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する。前期試験の総合評価により単位認定。評価基準：100点法で60点以上の成績をもって合格とする。 					
<p><使用問題集・注意事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士国家試験過去問 					
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他></p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア、施設見学、介護実習 					

授業科目名		介護総合演習Ⅱ	
回	授 業 内 容	備 考	
1	介護実習Ⅰの振り返り		
2	知識と技術の統合 介護実習Ⅱの目的と主な実習内容/実習の心構え		
3	介護実習Ⅱ 実習目標・実習計画設定		
4	介護実習Ⅱ 実習目標・実習計画設定		
5	介護実習Ⅱ関係書類の作成		
6	介護実習Ⅱ関係書類の作成		
7	帰校日(実習記録確認) 実習記録の意義・留意点 情報収集まとめ		
8	帰校日(実習記録確認) 実習記録の意義・留意点 情報収集まとめ		
9	帰校日(実習記録確認) 介護計画立案		
10	帰校日(実習記録確認) 介護計画立案		
11	帰校日(実習記録確認) 介護計画・実習記録まとめ		
12	帰校日(実習記録確認) 介護計画・実習記録まとめ		
13	帰校日(実習記録確認) 実習記録まとめ		
14	帰校日(実習記録確認) 実習記録まとめ		
15	実習振り返り～実習報告会用書類の作成		
16	実習振り返り～実習報告会用書類の作成		
17	実習振り返り～実習報告会用書類の作成		
18	実習振り返り～実習報告会用書類の作成		
19	実習報告会練習		
20	実習報告会練習		
21	実習報告会 学びの共有		
22	実習報告会 学びの共有		
23	実習報告会 学びの共有		
24	実習報告会 学びの共有		
25	訪問介護(仕組み、サービス内容、援助の視点、実習で学ぶポイント)		
26	通所介護(仕組み、サービス内容、援助の視点、実習で学ぶポイント)		
27	通所リハビリテーション(仕組み、サービス内容、援助の視点、実習で学ぶポイント)		
28	小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホーム(仕組み、サービス内容、援助の視点、実習で学ぶポイント)		
29	養護老人ホーム・グループホーム(仕組み、サービス内容、援助の視点、実習で学ぶポイント)		
30	まとめ		